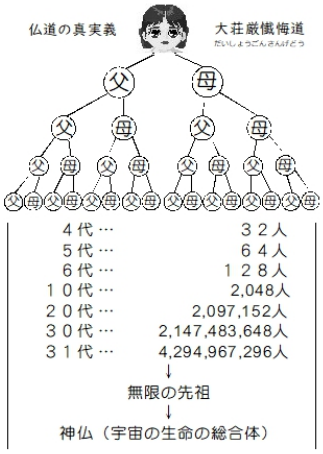
わが生命の真のあり方

【三法印】

一、すべての生命は、つねに生生発展し、（諸行無常）

一、すべての生命は、一切我ならざるはなく、（諸法無我）

一、すべての生命は、渾然（こんぜん）一体の生命である。（寂静涅槃（じゃくじょうねはん））



☆ 上図の原形は、常不軽台学先生が天授開顕されたもので、「三法印」の根拠になっています。

この「命のあり方の事実」が世界に弘まることによって、地球人類が一体となり、世界平和、地上天国が実現します。このほかに地球世界がひとつになる道はありません。

☆ 仏法は一乗にして二乗なく、各種宗派のあるべき理なし。（常不軽無学大士）

☆ 青年の若きをもって尊しとせず、正義に生きるをもって尊しとす。

◎ 詳しい内容はホームページをご覧下さい。宝號誦持教団公式ＨＰ（ほうごうじゅじ）→
http://hougojuji.life.coocan.jp/　「人間関係改善の秘法大公開」

（保存版…緊急時には、このパンフレットを折りたたんでお持ちになると、お守りになります。）

《 ごあいさつ 》

このたび、南林間6-25-25に「宝號誦持教団」が誕生いたしましたので、謹んでごあいさつ申し上げます。どうぞよろしくお願い致します。

宝號誦持教団は、「仏説による父母孝養・師長恭敬」(一切の人をみること、なお仏のおもいのごとくし、もろもろの衆生において、父母のおもいのごとくす)を信仰の主眼としております。この信仰修行によって、一切の病・貧・争が解決します。ことに心の病気は医薬や医術だけでは治りませんが、**統合失調症、うつ病、ひきこもり、自閉症等の心の病** も改善します。

私たち夫婦の１代前には４人の祖親がいて、２代前には８人ですが、32代前になると、約86億人となり、一躍世界の人口をこえます。左図は、自分という生命は父母、祖先を通して、神仏（宇宙の生命の総合体）と一体であり、すべての生命とつながっているということ、また、自分という生命の尊さ、そして人間をはじめ一切の生命の尊重が神仏のご本旨であることを示しています。

そして、親、先祖はいわば自分自身の「根っこ」に当たります。根を大事にすれば、枝葉が茂り、子孫が栄え、家庭の繁栄の元になります。この **仏説による親孝行** こそが、だれでも幸せになれる行法として、実に仏法の最終結論でありました。この行法によって、家庭や仕事の問題、夫婦の問題、子供の問題、そして介護の問題等がことごとく解決します。必ず現の功徳があります。　（合掌礼拝）

常不軽台学大士法統 宣布所
◎ 宝號誦持教団本営
連絡先…大和市南林間6の25の25
◎ 配布責任者…倉田 修一

大御宝號チャンネル→